

オディリア通信

あいあい

秋号(No83.)

R3年11月10日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073

Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp

ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

色とりどりの落ち葉やどんぐりなど秋の自然は子どもたちにとって宝の山です。お散歩や公園遊びのような身近な場所で自然に触れることが少しずつですができるようになっています。

手洗いや消毒・清掃を丁寧に行い生活を部屋単位で細かくわかるなど新型コロナウイルスの感染予防対策は継続していきます。面会の方にもご協力いただきながらですが、できる限り子どもたちに会いに来ていただいています。ポランティアの縫物の方、わらべうたを教えてください方、ベビーマッサージの方にも少しずつですが来ていただいています。

10月5日には、集いの広場に劇団「ひとみ座」の方に来ていただき人形劇の鑑賞会を実施しました。これは歳末たすけあい運動募金「福祉のまちづくり事業」より福祉施設地域活動助成を受けて行っている事業です。集いに遊びに来ている親子、入所している児らも一緒にとても楽しい時間を過ごしました。

乳幼児期ほどこういった、画面を通じたものではなく、本物に触れる機会が大切だと考えています。

これからも皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

施設長 鎌倉 道子

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



ピクニック アンナ



長かった緊急事態宣言が明け、やっとピクニックに出掛けることができました。可愛い柄のリュックを背負い、嬉しそうに歩く女の子。途中の自動販売機でジュースを買いました。お金を入れたりボタンを押したり、普段とは違うことができるのもピクニックの楽しみのひとつです。公園のベンチで飲むジュースの味も格別でした。公園で遊んだ後は、図書館で保育者と好きな絵本を読みました。本だらけの静かな部屋にみんな興味津々。保育者が小さな声で話すのを真似て、子どもの声のトーンも小さくなっていました。

帰りは電車に乗ります。一駅でしたが、めったに乗る事のない電車に、緊張しつつも車窓を流れる景色を楽しんでいました。降車後は、駅前の本屋さんでお買い物。子どもたちが自分で欲しい絵本を何冊か選び、保育者と一緒に購入する絵本を決めました。たくさんのおもいで帰る一日でした。

(保育士 川村)

横割り保育

各部屋は完全縦割りで生活しています。今年度から新しい試みとして、フロアー単位での横割り保育を計画しました。隣の部屋の同じくらいの年齢のお友達と散歩に出かけたり、部屋に訪問して一緒に空間で遊んでみたり、自分の部屋に来てもらったりしながら過ごします。

とある金曜日に、隣の部屋に遊びに行きました。いつもと違う部屋の雰囲気緊張して、保育者の膝に座って離れなかった子どもも、その場に少しずつ慣れ、自分の部屋にないおもちゃに興味を示し始めます。夢中になって遊んでいたところ、隣の部屋の保育者に「○○ちゃん上手だね」と褒められると、緊張しながらも嬉しそうに小さく頷いていました。その姿を見た○○ちゃんのお部屋の保育者は、このおもちゃを部屋でも購入しようかと考えているそうです。交流を、大人も子どもも一緒に楽しんでいきます。



(佐々木)

ハロウィン ローザ

10月31日は「トリック オア トリート」ハロウィンの日です。

子どもたちは「かぼちゃおばけ」とお部屋の中の装飾に興味津々。様々な仮装をして楽しんだり、お化けやかぼちゃの形をした画用紙にお絵描きをしたり、ハロウィンを心待ちにしていました。

そして待ちに待った当日。可愛い仮装をした後は、お菓子をもらいに院内へ出掛けます。恥ずかしがりながらも「トリックオアトリート」「ちょうだいな」と言う子どもたち。中には緊張して保育者の後ろに隠れてしまう子どももいました。一人ひとりの様々でしたが、沢山のお菓子を貰うことができてとても嬉しそうでした。普段と違う雰囲気味わい、楽しい一日となりました。

(保育士 清水)



作業療法士より

『子どもの靴について』

子どもたちの靴は小さくてカラフルなものが多く、選ぶのも楽しくなります。しかし、成長と共に足の大きさもどんどん変化していくため、その都度買い替えが必要です。そこで今回は靴を買うときのポイントをあげていきます。

①形

マジックテープで大きく開閉ができるものを選びます。自分で履く練習をする2才前後の時期にも適しています。また甲高や幅広など、足の形の違いもあるため、マジックテープの面積が広いものの方が調節しやすいです。



②サイズ

新しい靴をかかとに合わせて履かせたとき、親指の先を押し試みて凹みのあるものを選びます。使っていくうちに親指が靴の先に当たるようになってきたら、買い替えの時期の目安です。

③使い方

マジックテープは必ずしっかりと留めましょう。サイズにゆとりのある新しい靴を履く際は、マジックテープが緩いと靴の中で足が動いてしまい、足の指に傷ができたり爪を痛めたりします。また自分で靴が履けるようになった子どもたちに関しても、マジックテープは毎回大人がギョツと留めてあげてください。

④なるべく新品の靴を

歩き方は人それぞれ違います。靴は歩き方のクセがよく表れ、洗っても中敷きや靴底に跡が残っています。例えば兄弟姉妹であったとしても、他のお子さん履いた靴を履くのはおすすめてできません。なるべく新品の靴を用意できるとよいですね。



⑤その他に気をつけること

同じサイズでも、メーカーやデザインの違いで大きさが全く違うことがあります。試し履きをしてから買うと安心です。

また、暑い時期はサンダルを履いたり、はだして水遊びなどをたくさんするため足が大きくなります。夏の終わりには靴のサイズチェックをおすすめします。

歩くことはいちばん簡単で確実な全身運動です。歩くためには子どもたち一人ひとりに適した靴が必要です。出かけるときには靴が正しく履けているか、きつくなっていないか必ず確認し、適切な時期に買い替えてあげてください。

(作業療法士 萩之内)



ナースの一言アドバイス



RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症はかぜのひとつですが、高熱やひどい咳の症状が出たり、息がゼーゼーして苦しむことがあります。

◇原因◇

主に11月以降の冬季に流行するウイルス性のかぜです。

2〜3歳までにほぼ100%の子どもが一度はかかり、その後も繰り返しかかる事があります。

母親から受け継ぐ免疫も完全ではないため新生児でもかかることがあります。

鼻汁や唾液の付着した玩具に触れることや、咳やくしゃみでウイルスが飛び、それを吸い込むことなどで感染します。

◇症状◇

4〜6日の潜伏期間の後に咳や鼻汁の症状が始まり、ゼーゼーする呼吸が始まる事もあります。



特に1歳以下の子どもは症状が強くなりやすく、年長になると症状が軽くなるこ

とが多いです。
ほとんどの場合は1〜2週間で徐々に

回復します。しかし6カ月未満の乳児や先天性の病気を持つ子どもは重症化することもあり、生後1カ月未満では無呼吸発作のリスクが高くなります。

◇治療◇

ウイルス自体に効く特殊な治療薬はないため症状に応じた対症療法を行います。肺炎を合併して入院治療が必要になる事もあります。

早産児や心臓病などの先天性の病気のある子どもは、リスクが高いためRSウイルスをブロックする注射(シナジス)を冬の期間注射して予防します。

◇予防◇

RSウイルスは手指や物品を介して感染するため手洗いや物



品(特に子どもが触れる玩具など)身の回りの消毒が基本的な予防法です。
・流行時期や家族が感染した時には、出来るだけ接触を避け、こまめに手洗いや手指消毒を行う。

・タオルや洗面器などの共有は避ける。
・ドアや手すり、玩具などは出来るだけこまめに消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。

しっかりと予防をして、冬を乗り越え
ましょう。
(看護師 村田)

今後の行事

12月 クリスマス

1月 お正月

2月 節分

お知らせ

聖オディリアホーム乳児院のホームページがあります。
合わせてご覧下さい。
<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

緊急事態宣言が明けた10月。秋はお散歩に最適な季節です。外の世界は子どもたちの好奇心を刺激します。可能な範囲の中で出来るだけたくさん経験を積み重ねていけるよう、感染症対策をしっかりと行い、お出かけの機会を増やしていきたいと思

います。
(保育士 川村)

